



秘書課 ☎66♦1161

病気のため辞職された逸見市長の後任を選ぶ市長選挙は昭和45年2月22日投票され、当時の助役であった長谷部半平氏が、激戦の末わずか80票の差で当選しました。

長谷部新市長は市政運営の重点施策として、①市民福祉の充実に、②都市環境づくり、③教育文化の向上、④産業振興の4つを挙げて具体的な事業を実施しました。

県下で初めての老人医療費無料化(46年)や、幼児医療費の無料化(48年)の実施など、福祉の充実のための諸施策を展開し、とりわけ児童福祉の面では、独自の高い水準の制度を創設し、時代を先取りした施策を進めました。

また、総事業費一千億円以上といわれる下水道の建設、道路網整備や住宅地の造成、都市緑化など都市基盤づくりにも尽力されました。

前市長から進められていた学校

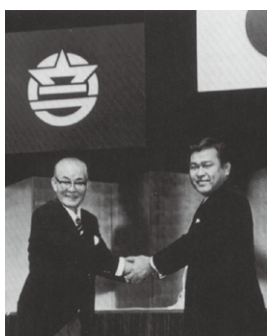
規模適正化により、三谷東小学校(48年)・竹島小学校(49年)を相次いで開校し、さらには、東三河最大のマンモス校であった蒲郡中学校を分割して中部中学校を開校(53年)しました。

また、昭和48年には市民会館を建設し、文化活動の拠点として文化祭、講演会、演劇・コンサートの公演などを行ない、市民の文化レベルの向上に尽力されました。

主要産業である観光については、

竹島ヘルスセンターや三谷温泉・三ヶ根山ロープウェイなど、時代のニーズに合わなくなった観光施設は廃止し、とぼねスカイランド(人工スキー場・アスレチック場)などの参加型の施設を新たに建設しました。

在任中、市民プール(50年)・郷土資料館(54年)・勤労福祉会館(55年)・武道館(56年)などの公共施設を建設したほか、市民から要望が出る前に問題点を発見する市政パトロールの設置をするなど、3期12年間にわたり、市政の発展に多大な貢献をされました。



沖縄県浦添市と友好都市提携(昭和56年11月4日)
左:長谷部市長
右:比嘉昇浦添市長

夏のロケット

夜風に交じる一筋の涼が、夏の終わりの訪れを告げているようです。皆さん、今年も夏を満喫されたでしょうか?夏の風物詩といえば、打ち上げ花火。蒲郡では今年も仕掛け花火が艶やかさを競い、三尺玉が天地を震わせました。

〈宇宙へ!〉

打ち上げといえばこの夏は、さらに天高くまで打ち上がる、ロケットも話題となりました。

まずは8月4日、種子島から打ち上げられた「こうのとり」。6名の宇宙飛行士が常時滞在している国際宇宙ステーション(ISS)へ、食料や衣類、ロボットなど貴重な物資を届ける補給機です。まさに命を運ぶこうのとり、幸運の鳥です。

もう一つは、8月27日打ち上げの「イプシロン・ロケット」。日本が世界に誇る固体ロケット技術の集大成とも言える本機は、世界初の、火星や金星などの惑星を観測するための宇宙望遠鏡を打ち上げます。

文字通り宇宙規模の、打ち上げの競演です。

〈線香花火〉

大輪の打ち上げ花火はもちろんですが、手で花開く線香花火の美しさと繊細さは、また格別です。規模や趣は違っても、いずれ劣らぬ匠の技と科学技術の結晶です。生命の海科学館では今後も、宇宙規模の科学について講演やイベントで紹介しつつ、ペットボトルロケットやアノマロ気球など、身近で楽しめる、地元でチャレンジできる、線香花火も盛り上げてまいりますので、どうかこの秋もお楽しみに。



宇宙飛行士を疑似体験!? 生命の海科学館の展示室に、「さわれる地球」のコーナーがリニューアルオープンしました。宇宙から見た青く輝く生命の惑星を、どうぞご自分で体感してみてくださいね。